

## 令和7年度（2025年度）財務状況の概要

### 1. 決算の概要

#### （1）貸借対照表関係

固定資産が減価償却の進行等により前年度比88百万円減少するとともに、流動資産も現金・預金を中心に65百万円減少したため、資産の部の合計額は153百万円減少しました。

純資産も488百万円減少したため、純資産が総資産に占める割合である純資産構成比率は0.6ポイント低下し、91.4%となりました。

#### ①貸借対照表の状況と経年比較

科 目	2021	2022	2023	2024	2025
固定資産	54,787	55,076	55,056	55,114	55,026
有形固定資産	16,886	18,859	23,153	22,758	22,386
特定資産	37,554	35,648	31,370	31,887	32,204
その他の固定資産	346	568	532	468	435
流動資産	4,690	4,670	4,830	4,260	4,195
<b>資産の部合計</b>	<b>59,478</b>	<b>59,747</b>	<b>59,886</b>	<b>59,375</b>	<b>59,221</b>
固定負債	3,524	3,409	3,336	3,292	3,204
流動負債	1,494	1,505	1,625	1,470	1,893
<b>負債の部合計</b>	<b>5,016</b>	<b>4,914</b>	<b>4,962</b>	<b>4,763</b>	<b>5,098</b>
基本金	73,773	74,609	74,887	75,346	75,789
繰越収支差額	△ 19,312	△ 19,776	△ 19,964	△ 20,734	△ 21,666
<b>純資産の部合計</b>	<b>54,461</b>	<b>54,832</b>	<b>54,923</b>	<b>54,611</b>	<b>54,123</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>59,478</b>	<b>59,747</b>	<b>59,886</b>	<b>59,375</b>	<b>59,221</b>

（単位：百万円、百万円未満切捨て）

#### ②財務比率の経年比較

項 目	項目の解説	2021	2022	2023	2024	2025
純資産構成比率	財政的な安定度を評価する指標	91.6	91.8	91.7	92.0	91.4
運用資産余裕比率	経常的支出規模に対する運用資産の蓄積度を示す指標	5.3	4.8	4.0	3.8	3.6
流動比率	短期的な支払能力を評価する指標（200%以上は優良）	314.5	310.3	297.1	289.8	221.5
総負債比率	総負債に対する他人資金の比重を評価する指標	8.4	8.2	8.3	8.0	8.6
前受金保有率	前受金が現預金で適切に保有されているかを示す指標	787.1	749.6	653.8	585.4	516.3
基本金比率	基本金要組入額に対する組入済基本金の割合	99.8	99.8	99.9	99.9	99.8
積立率	運用資金の積立状況を表す指標	70.1	68.6	66.2	65.3	64.8

（単位：運用資産余裕比率は「年」、その他は「%」）

(2) 事業活動収支計算書関係

2024年4月に開設した看護学部の学生生徒等納付金が2学年分にとどまること等の影響により、教育活動収支差額、経常収支差額、基本金組入前当年度収支差額は前年度に続き支出超過となりました。

①事業活動収支計算書の状況と経年比較

科 目	2021	2022	2023	2024	2025
学生生徒等納付金	4,743	4,784	4,806	4,978	5,075
手数料	45	43	50	43	58
寄付金	50	60	49	73	54
経常費等補助金	462	474	428	432	555
付随事業収入	2,622	2,836	3,086	3,018	3,178
雑収入	314	368	347	311	333
教育活動収入計	8,238	8,568	8,769	8,857	9,255
人件費	4,307	4,415	4,583	4,712	5,026
教育研究経費	2,961	3,152	3,488	3,836	4,062
管理経費	524	667	648	709	714
徴収不能額等	0	0	0	0	0
教育活動支出計	7,793	8,235	8,720	9,258	9,804
<b>教育活動収支差額</b>	<b>445</b>	<b>333</b>	<b>48</b>	<b>△ 400</b>	<b>△ 549</b>
受取利息・配当金	46	33	38	48	66
教育活動外収入計	46	33	38	48	66
教育活動外支出計	0	0	0	0	0
<b>教育活動外収支差額</b>	<b>46</b>	<b>33</b>	<b>38</b>	<b>48</b>	<b>66</b>
<b>経常収支差額</b>	<b>491</b>	<b>366</b>	<b>87</b>	<b>△ 351</b>	<b>△ 482</b>
資産売却差額	0	0	0	40	0
その他の特別収入	16	74	19	11	17
特別収入計	16	74	19	52	17
資産処分差額	444	70	15	12	23
その他の特別支出	0	0	0	0	0
特別支出計	444	70	15	12	23
<b>特別収支差額</b>	<b>△ 428</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>40</b>	<b>△ 5</b>
<b>基本金組入前当年度収支差額</b>	<b>63</b>	<b>370</b>	<b>91</b>	<b>△ 311</b>	<b>△ 488</b>
基本金組入額合計	△ 64	△ 7,135	△ 278	△ 464	△ 443
<b>当年度収支差額</b>	<b>△ 1</b>	<b>△ 6,764</b>	<b>△ 187</b>	<b>△ 776</b>	<b>△ 932</b>
前年度繰越収支差額	△ 19,634	△ 19,312	△ 19,776	△ 19,964	△ 20,734
基本金取崩額	324	6,300	0	6	0
<b>翌年度繰越収支差額</b>	<b>△ 19,312</b>	<b>△ 19,776</b>	<b>△ 19,964</b>	<b>△ 20,734</b>	<b>△ 21,666</b>
(参考)					
事業活動収入計	8,301	8,676	8,827	8,959	9,339
事業活動支出計	8,238	8,305	8,736	9,270	9,828

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

②財務比率の経年比較

項 目	項目の解説	2021	2022	2023	2024	2025
人件費比率	人件費の経常収入に占める割合	52.0	51.3	52.0	52.9	53.9
教育研究経費比率	教育研究経費の経常収入に占める割合	35.7	36.6	39.6	43.1	43.6
管理経費比率	管理経費の経常収入に占める割合	6.3	7.8	7.4	8.0	7.7
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額の対事業活動収入比率	0.8	4.3	1.0	△ 3.5	△ 5.2
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金の経常収入に占める割合	57.2	55.6	54.6	55.9	54.4
経常収支差額比率	経常収支差額の経常収入に占める割合	5.9	4.3	1.0	△ 3.9	△ 5.2

(単位：%)

### (3) 資金収支計算書関係

収入の部では、看護学部在校生増加に伴い学生生徒等納付金収入が増加するとともに、医療収入の増加に伴い付随事業・収益事業収入も増加しました。

一方、支出の部でも、人件費支出、教育研究経費支出がともに増加したため、翌年度繰越支払資金は144百万円減少しました。

#### ① 資金収支計算書の状況と経年比較

科 目	2021	2022	2023	2024	2025
学生生徒等納付金収入	4,743	4,784	4,806	4,978	5,075
手数料収入	45	43	50	43	58
寄付金収入	49	60	48	73	53
補助金収入	462	527	428	432	555
資産売却収入	0	0	0	41	0
付随事業・収益事業収入	2,622	2,836	3,086	3,018	3,178
受取利息・配当金収入	46	33	38	48	66
雑収入	311	366	346	310	332
前受金収入	523	535	641	634	691
その他の収入	1,101	9,955	5,784	1,014	1,065
資金収入調整勘定	△ 1,083	△ 1,157	△ 1,154	△ 1,159	△ 1,237
前年度繰越支払資金	3,609	4,118	4,013	4,191	3,714
<b>収入の部合計</b>	<b>12,434</b>	<b>22,106</b>	<b>18,089</b>	<b>13,627</b>	<b>13,553</b>
人件費支出	4,415	4,521	4,660	4,729	4,999
教育研究経費支出	2,357	2,523	2,809	2,900	3,133
管理経費支出	434	575	551	585	589
施設関係支出	185	2,118	3,981	300	228
設備関係支出	164	879	1,053	306	417
資産運用支出	835	7,451	840	895	835
その他の支出	475	564	551	562	393
資金支出調整勘定	△ 552	△ 540	△ 550	△ 367	△ 613
翌年度繰越支払資金	4,118	4,013	4,191	3,714	3,569
<b>支出の部合計</b>	<b>12,434</b>	<b>22,106</b>	<b>18,089</b>	<b>13,627</b>	<b>13,553</b>

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

#### ② 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

科 目	2021	2022	2023	2024	2025
教育活動資金収入計	8,235	8,566	8,766	8,856	9,253
教育活動資金支出計	7,207	7,620	8,022	8,215	8,723
差引	1,028	946	744	640	530
調整勘定等	67	△ 50	108	△ 1	98
<b>教育活動資金収支差額 (A)</b>	<b>1,096</b>	<b>896</b>	<b>852</b>	<b>638</b>	<b>629</b>
施設整備等活動資金収入計	0	2,379	4,623	41	0
施設整備等活動資金支出計	570	9,770	5,260	935	979
差引	△ 570	△ 7,390	△ 637	△ 894	△ 979
調整勘定等	20	△ 40	21	△ 95	118
<b>施設整備等活動資金収支差額 (B)</b>	<b>△ 549</b>	<b>△ 7,431</b>	<b>△ 615</b>	<b>△ 989</b>	<b>△ 860</b>
<b>小計 (A+B)</b>	<b>547</b>	<b>△ 6,535</b>	<b>236</b>	<b>△ 350</b>	<b>△ 231</b>
その他の活動資金収入計	578	7,109	565	444	613
その他の活動資金支出計	616	679	624	571	526
差引	△ 38	6,429	△ 59	△ 126	87
調整勘定等	0	0	0	0	0
<b>その他の活動資金収支差額 (C)</b>	<b>△ 38</b>	<b>6,429</b>	<b>△ 59</b>	<b>△ 126</b>	<b>86</b>
<b>支払資金の増減額 (A+B+C)</b>	<b>508</b>	<b>△ 105</b>	<b>177</b>	<b>△ 476</b>	<b>△ 144</b>
前年度繰越支払資金	3,609	4,118	4,013	4,191	3,714
翌年度繰越支払資金	4,118	4,013	4,191	3,714	3,569

#### ③ 財務比率の経年比較

項 目	項目の解説	2021	2022	2023	2024	2025
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収入に占める教育活動資金収支差額の割合	13.3	10.5	9.7	7.2	6.8

(単位：%)

## 2. その他

### ①資産運用の状況

- ・ 本学は以下の引当特定資産毎に設定された目的に応じた運用期間、手法で運用を行っています。

#### 第3号基本基金引当特定資産

学生奨学資金、研究者の研究奨励資金、本学の安定的な経営に資するための資金

#### 退職金引当特定資産

教職員の将来の退職金の原資

#### 減価償却引当特定資産

建物等の償却資産の改修や再構築の原資

#### 医療機器購入資金引当特定資産

附属病院で使用する大型の医療機器等の原資

#### 記念行事資金引当特定資産

周年記念行事等に使用する資金

- ・ 本学は「学校法人大阪歯科大学資産運用規程」に基づき、リスクの排除を重視した安全・確実な運用方針に基づく運用を行っています。

年度毎の運用方針並びに個別案件の運用については、資産運用検討委員会並びに法人理事会の議を経て決定しています。

また、実際の運用に運用に当たっては、運用期間の分散化に留意し、将来の金利変動に中立的なポートフォリオの構築を目指すとともに、運用商品・運用機関の選定過程の透明性の確保にも留意しています。

### ②学校債の状況

- ・ 学校債の発行実績はありません。

### ③寄付金の状況

- ・ 2025年度の寄付金収入の大半は、一般企業等からの研究目的等を指定した特別寄付金が占めており、それぞれの目的に応じた使用を行っています。

### ④補助金の状況

- ・ 2025年度の補助金収入の大半は、経常費等補助金や授業料等減免費交付金等の国庫補助金が占めており、補助目的に応じた使用を行っています。

### ⑤収益事業の状況

- ・ 本学は、本学の寄附行為に規定すべき収益事業を行っていません。

## 3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

- ・ 本学は、541億円の純資産（純資産構成比率91.4%）を有し、その内358億円を運用資産が占めるといふ資産内容を有しており、外部からの有利子負債も皆無であるため、安定した財務基盤を有していません（運用資産余裕比率は3.6年）。

また、17期連続で30億円以上の支払資金残高を維持する等、安定した支払能力を有しています。

- ・ 経常収支差額は、2023年度まで12期連続で黒字を維持していましたが、2024年度と2025年度は看護学部の開設に伴う負担増等により赤字を計上しました。

ただし、看護学部は開設年度である2024年度以降2026年度まで募集定員を充足する新入生を確保することができているため、早期の黒字化を見込んでいます。

- ・ 今後は、教育・研究・診療水準のより一層の向上を目指した環境整備を実現するために、歯学部、医療保健学部、看護学部、附属病院の全部門が安定的な経常収支差額を計上できる体制の構築を目指してまいります。